

豊田市森林行政10年のあゆみ

とき	できごと
2000年 9月	東海（恵南）豪雨災害。
2005年 4月	1市4町2村による市町村合併。新豊田市が誕生。 旧豊田市から森林面積が6倍になり愛知県最大の森林都市になる。 「森林課」を設置し、足助支所に事務所を構える。 市内7組合が合併し「豊田森林組合」が発足。
2005年 8月	林業関係者・学識経験者等による常設の第三者機関である 「とよた森づくり委員会」が発足。
2006年 5月	市民への普及・人材育成を目指した「とよた森林学校」を開校。 全16講座、年間開催日数77日で、全国でも例のない規模。
2007年 3月	「豊田市森づくり条例」を制定。 「豊田市100年の森づくり構想」を策定。 森林の公益的機能発揮を 柱として、20年間で過密人工林の一掃を図る内容。
2007年 4月	過密人工林一掃に向けた「団地化推進プロジェクト」がスタート。 地域が主体となる地域森づくり会議方式で、間伐面積の拡大に取り組む。
2007年 10月	「豊田市森づくり基本計画」を策定。
2008年 12月	保育から利用への政策転換を図る国の「森林・林業再生プラン」が スタート。
2009年 3月	とよた森林学校の受講者数が延べ1,000人を突破。
2009年 4月	愛知県が「あいち森と緑づくり税」を導入。 森林環境税の導入は全国の都道府県で30番目。
2010年 4月	市と森林組合による「森づくり団地化促進チーム」を発足。
2011年 4月	「とよた森林学校OB会」を設立。
2012年 5月	とよた森林学校の受講者数が延べ2,000人を突破。
2013年 3月	「第2次豊田市森づくり基本計画」策定。 合併後の市内間伐累計面積10,000haを突破。 団地化推進プロジェクトの団地認定累計面積が5,000haを突破。
2014年 10月	「とよた森づくり10周年記念イベント」開催。
2015年 4月	「森づくり構想リニューアル・プロジェクト」がスタート。 水道水源保全事業（1トン1円事業）がリニューアル。 間伐事業を中心に水源林購入と水源かん養モニタリング事業がスタート。
2015年 10月	「とよた森林学校10周年記念イベント」開催。
2015年 10月	豊田市中核製材工場誘致として西垣林業（株）と立地協定を締結。
2015年 11月	「森づくり構想シンポジウム」開催。
2018年 3月	岐阜県立森林文化アカデミー・豊田森林組合・豊田市の3者で、 人材育成にかかる連携協定を締結。